

バイオマスプロジェクトチームだより No.7



平成 17 年 5 月 19 日（木）
バイオマスプロジェクトチーム
（環境生活部資源循環推進課）

1. 事業の進捗状況 等

○ 木質バイオマス利活用実用化促進事業

有機農業推進特区の認定を受けるなど有機農業を進めている山武町では、「木炭の有機農業利用」の取組みが始まっています。4月19日には、JA山武郡市睦岡支所有機部会と千葉大学及び県との共同研究による木炭施用試験の実施に関する現地検討会が開催されました。

4月初旬から協力農家の圃場への木炭施用試験が始まっており、今後は有機培養土や水稻栽培への利用なども検討されています。

山武町では、サンブシ被害材やせん定枝を再資源化した木炭を利用した“土づくり”など、森林再生と有機農業をつなげる「バイオマスタウン構想」を策定中です。



有機部会の農家での施用試験状況
（写真のハウスはルッコラほか 右側が炭施用区）

○ 山田町での農林水産バイオリサイクル研究

消化液を処理する脱液機、吸着貯留装置（ガスホルダー）が設置されました。

また、山田町のバイオリサイクル研究施設が今年度完成する予定であることを受け、町が中心となって関係団体等で構成される「山田町バイオマス利用推進協議会」の設立総会が開催されました。（4月25日（月））

会では規約の承認と役員を選出が行われました。今後は各構成員の役割分担を決定し、「バイオマスタウン構想」の国への提出を目指しています。



吸着貯留装置（ガスホルダー）

2. 国・大学等との連携

- (独)産業技術総合研究所が実施する「地域LCA(ライフサイクルアセスメント)」の検討



製品やサービスの環境側面を定量的に評価する手法として、LCA(ライフサイクルアセスメント)手法が産業界で広く用いられています。(独)産業技術総合研究所では、地方自治体の施策実施に伴う環境影響を定量的に評価する手法の具体化を目的として、千葉県、岩手県、三重県を対象としたモデル事業を平成15年から3ヵ年をかけて実施しています。

5月10日(火)県庁議会棟会議室において、産業総合研究所からこれまでの研究開発の経緯と概要について報告が行われ、併せて最終成果をまとめる今年度の研究方向について意見交換を行いました。

これまでバイオマスプロジェクトチームも協力し、県内バイオマス資源量等のデータ収集が行われてきましたが、今年度は、収集したデータを生かして地域の最適な再資源モデルの提案や特定の市町村をモデルとしたケーススタディを行っていく予定としています。次回は7月に意見交換会を行う予定です。

- バイオマス・ニッポン総合戦略アドバイザリーグループ第6回会合

標記委員会が、5月23日(月)に開催されます。バイオマスプラスチックのモデル事業の評価等について話し合われる予定となっています。

バイオマス・ニッポン総合戦略アドバイザリーグループ：

平成14年12月27日に閣議決定されたバイオマス・ニッポン総合戦略の推進に向け、多様な意見や民間の視点を反映させることが重要である点を踏まえ、民間や地方公共団体の有識者によるアドバイザリー機関として設置されました。政府のバイオマス利活用推進に向けた取り組みの向上を図ります。

ホームページアドレス http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/biotop.htm